

多摩市地域自立支援協議会 令和2年度第1回 会議録

日 時	令和2年7月21日(火) 18:30~20:30	場所	多摩市役所 301 会議室
出席者 (敬称略)	委員 ※敬称略	市川、井上、植草、浦田、岡崎、北山、木村、近藤、清水、菅、野宮、森田、吉井、渡辺	
	障害福祉課 (事務局)	松本課長、田島課長、曾山主査、平林主査、五十嵐主査、神長主事	
欠席者	委員 ※敬称略	澤田	
記録者	事務局		
項目	開会 1. 今年度の議題等について 2. 多摩市障害福祉計画等の策定について 3. 多摩市障がい者基本計画の令和元年度の達成状況の評価について 4. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について 5. その他 閉会		
詳細			
開会 障害福祉課 長挨拶	<p>～開会～</p> <p>【事務局(障害福祉課長)】</p> <p>今年度は障害福祉計画の改訂の年。自立支援協議会の皆様には計画策定にあたってご協力いただきたい。本日は現行の障害福祉計画の進捗・今後の課題の確認、新型コロナウイルス感染症対応について等、意見交換をしたい。よろしく申し上げます。</p> <p>●就任・退任の報告</p>		
1. 今年度の 議題等につ いて	<p>事務局より、多摩市地域自立支援協議会、地域生活支援専門部会、権利擁護専門部会の概要を説明。昨年度の開催状況の報告。今年度の議題等について説明。今年度は①障害福祉計画・障がい児福祉計画の策定について②地域生活支援拠点等について③精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について④新型コロナウイルス感染症に関する対応について が主な議題になる。その後、今年度のスケジュールの確認。</p> <p>●今年度の議題等について委員から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画策定にあたっては策定市民委員会がない。コロナウイルスの状況も分かるが、市民が参加する委員会がなくなってしまうことについて皆さんの意見を聞きたい。 		

<p>2. 多摩市障害福祉計画等の策定について</p>	<p>市には、他の形態で市民を集めるのか聞きたい。計画策定にあたっては身体・知的・精神の3つの部会に分かれて検討していたが、そういう場をどう考えるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定市民委員会を今回つくらない理由をもう一度説明してほしい。 <p>【事務局の回答】</p> <p>計画の策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策のため、新たに市民委員会を設置して議論するのではなく、地域自立支援協議会の委員の皆様をはじめ、地域の関係団体の皆様の意見を伺いながら計画に反映していくこととしたい。</p> <p>また、計画の策定にあたっては、多摩市障がい者生活実態調査や権利擁護専門部会等において障がい当事者の声、事業所等連絡会において支援担当者の声を集約しながら、地域自立支援協議会において現状の把握や取り組むべき課題等の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定市民委員会の役割を権利擁護専門部会が担う、という認識で良いか。権利擁護専門部会で市民の意見が聴取しきれなかった場合は会議回数を増やすことはあるのか。 <p>【事務局の回答】</p> <p>前回策定市民委員会で意見をいただいていた部分は権利擁護専門部会や関係団体へのヒアリング等の異なる機会・手法で行っていきたいと考えている。会議の状況によって回数を増やす可能性はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会も同じだが、コロナウイルスの関係があるので、集まるのは難しい。できるかは分からないが、リモートでの参加やメール等の方法を検討してほしい。 次期の計画では、大きな流れとして、令和3年度に報酬改定が行われる。福祉政策について、報酬改定がどれだけのインセンティブを与えるのか。今言われているのは、生活介護と施設入所の報酬を下げ、居宅等に増やすのではという憶測を聞いている。その辺の報酬改定とのリンクというのは、第5期の見込み量からいつものように上乘せ・減らすという方式でやるのか、将来展望を添えて見込むのか。 <p>【事務局の回答】</p> <p>国から入ってくる情報を鑑みながら調整していくことにはなる。基本は今までの3年間の実績数値を基に見込む。</p> <p>事務局より、5月に国から示された「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて」の説明。新たな項目として相談支援体制の充実・強化等、障害福祉サービス等の質の向上が追加された。基本指針に則して多摩市も計画を策定していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多摩市障害福祉計画等の策定について委員から出た意見 <ul style="list-style-type: none"> 「障害児支援の提供体制の整備等」に書かれている「医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置」とは、新たに予算をとるのか。
-----------------------------	--

	<p>【事務局の回答】</p> <p>国の指針には令和 5 年度末までの配置を基本とする、とある。来年度すぐに、というよりは計画立てて設置ということが謳われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 理念や理想はいくらでもできるが、予算が絡むことがたくさんある。工夫や努力でできるところもあるが、やはり予算がどれくらいなのか気になった。長年訴え続けたことが文字になると嬉しいが「お金がかかるよな」というのが正直なところ。 <p>【事務局の回答】</p> <p>障害福祉サービス費は年々2 億円ぐらい増えている。コロナウイルスの関係で減るところもあるが、新たな対応箇所も増えており、どこまで財源を確保できるかという問題はある。しかし、前回の計画策定時の市民説明会で「できるかできないかではなく、目標として進めていくという姿勢を計画に落としてほしい」という意見があり、印象に残っている。財源的なところも鑑みながら計画をつくるが、「ここだけは」というものがあれば意見を聞きながら落とし込んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域生活支援事業の報酬の低さや相談支援の大変さを鑑みると、どうしていけば良いかと戸惑うところはある。相談支援は、特に児童はセルフプランが多い。成長に従って第三者が入った方が良いのではという話もある。もう少し相談支援の機関があったらいいのかなと思う。市全体で研修、相談支援者を育成する機会があれば良い。 • 事業所では障害福祉サービスの質をどのように向上すれば良いのか迷う。例えば、精神障がいの方の掃除片付けに行ったものの、翌週には元の木阿弥になっている。どうしたら片付けができるようになるのか。一緒にやるのが目的だが、「今日は寝ていたい」「疲れた」と言う人が多い。具体的にどういうところで質の向上を図れば良いのか。 • 今回のコロナウイルスもそうだが、水害や地震等、障害福祉に関する災害対策や指針が必要。見たところ、障害福祉に関する災害に係るワードが見つからない。これはぜひ取り組まなければならない。災害に対する課題はたくさんある。それを議論する場がないので、障害福祉に関する災害についての文言を入れて欲しい。 • 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について。退院後 1 年弱自宅で生活するのが大変で、入退院繰り返す方がたくさんいる状況。どういうシステムがあれば地域で長く生活できるのかなというのはずっと考えてきているが答えが出ていない。良いシステムができると良いなと思う。 <p>3. 多摩市障がい者基本計画の令和元年度の達成状況の評</p> <p>多摩市障がい者基本計画の令和元年度の達成状況の評価について事務局から説明。「施策の方向性」の各担当課における達成状況の評価は A（目標に係る取り組みを行い、目標を達成できた）の割合が高くなっている。今回は B 評価（目標に係る取り組みを行ったが、今後見直し等が必要）、C 評価（目標に係る取り組みを実施できなかった）のものについて説明（資料 18 ページ～20 ページを読み上げ）。</p>
--	---

<p>価について</p>	<p>●多摩市障がい者基本計画の令和元年度の達成状況の評価について委員から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障がい児支援体制の整備」の項目について。特別支援学校卒業後の居場所については何年も前から課題であった。資料には「関係機関と調整しながら必要な支援について検討していく」とあるが、通所先に空きがないのに無理矢理押し込めるのか。 <p>【事務局の回答】</p> <p>無理矢理事業所に増員してくれと言うことではない。新たな開設の相談も来ている。ここ何年も、福祉部局から都市整備部局に「建て替えがあったらその土地の活用（グループホームを建てる・通所先にする等）を働きかけてほしい」とお願いしている。障害部局だけでは解決できない状況になっていると感じており、全庁的な問題として捉えないと解決できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校卒業後の居場所の問題については毎年の話。3月になって2～3か所の通所先に行かないといけない状況が出てきている。「関係機関と調整して」と言うと曖昧だが「〇〇部局と連携して」と具体的に書くとイメージしやすいのでぜひお願いします。 ・他の部局との連携が具体的にどう進んでいるのか見えないので残念。本当に必要なものがB評価やC評価である。 <p>【事務局の回答】</p> <p>敢えてB評価とC評価を挙げたのは、何年越しても進まない課題であることの再確認のため。ここをなんとかしたいと障害所管も思っている。事業所等連絡会でも、相談支援体制の構築や人材確保どうすればよいか議論の題材に挙げているが、これといった対応策が見つからない。障害福祉の従事者の確保が難しく、各自自治体がどう工夫しているのか意見交換をしている状況。市としても対策を講じていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共生社会に向けたまちづくり」の項目に「新たなコミュニケーション支援の方向性を出す」とある。手話通訳と要約筆記を受託しているが、コロナウイルスが発生したときに、アプリを使った新たな手段を提案した。実現はできなかったが、今後も現場の声をあげながら、検討していきたい。 ・「防災対策の推進」で成果が上がっていない。まちづくりの中の防災というより、障害福祉の防災が検討されていない。二次避難場所もまだ確立されていない。どこかに文言がないと具体的に議論することができない。多摩市の全体像が見えない。色々なところで話し合いはされているが、どこかで意見を集約する場所はないのか。 ・人手不足で介護においても厳しい状況。人材の募集、育成、研修を行政あるいは社会福祉協議会でやっていただきたい。このことについて今後の協議の中に入れてほしい。コロナウイルスの件で、厚労省は感染リスクを考え、しばらくの間は無資格でも事業所に登録できるという通知を促している。知り合いの紹介等を行い活用してほしい。 <p>【会長の意見】</p> <p>今出てきたキーワードは今年度の協議会のテーマとして挙げていく。</p>
--------------	---

<p>4. 新型コロナウイルス感染症に関する対応について</p>	<p>障害福祉分野における新型コロナウイルス感染症に関する主な対応について事務局から説明。新型コロナウイルス感染症対策に係る障害福祉サービス等事業所の実態調査結果の報告。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症に関する対応について委員から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査結果について。ネットワークたまげんきで業務の受注を行っているが、公園緑地課の委託事業が白紙になった。やれていることはあるが、失っていることも調査すべき。それが実態ではないか。 ・この状況下では、管理者としてはヘルパーの危機管理に迷った。日々、自分が感染を広げるかもしれないとドキドキしながら働いている。事業所として悩みの種。 <p>【会長の意見】</p> <p>委員指摘の通りまだまだ調査ができていない部分もある。今後第2弾、第3弾の情報収集をしていただき、今後も忌憚のない意見を話し合いたい。</p>
<p>5. その他</p>	<p>多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例のリーフレットについて事務局から説明。その後、条例施行後の今後のスケジュールの説明。</p> <p>●全体を通して出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供。人工呼吸器等に干渉の恐れがある、デバイスが発する電波について。スマートウォッチも影響を及ぼす。今一度確認し、気を付けてもらうことを周知してほしい。1メートル離れていれば大丈夫と言う意見もあるが、災害のときに近くに人工呼吸器等が存在することも出てくると思うので、必ずメーカーに問い合わせしておくべき。
<p>閉会</p>	<p>～閉会～</p>